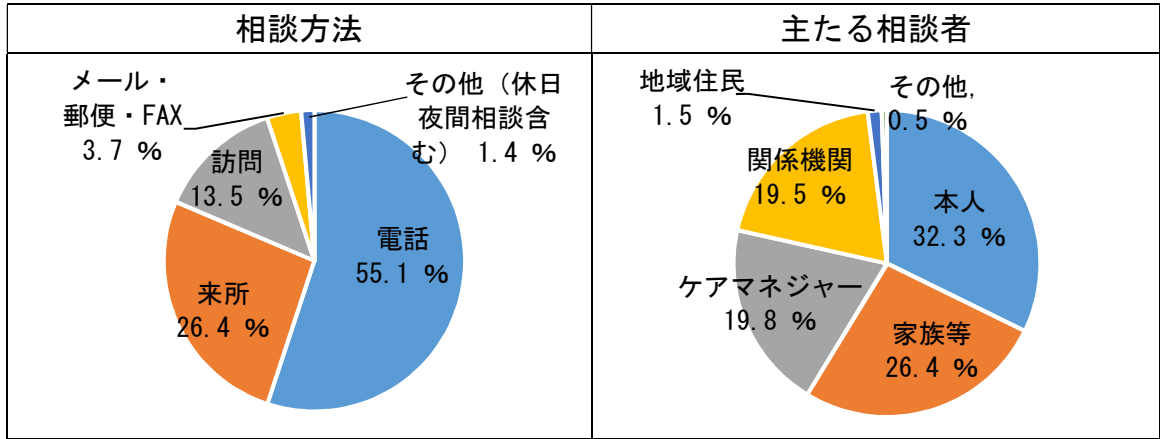


1. 地域包括支援センター相談状況について

(1) 令和4年度地域包括支援センター相談統計（令和4年4月～令和5年3月）



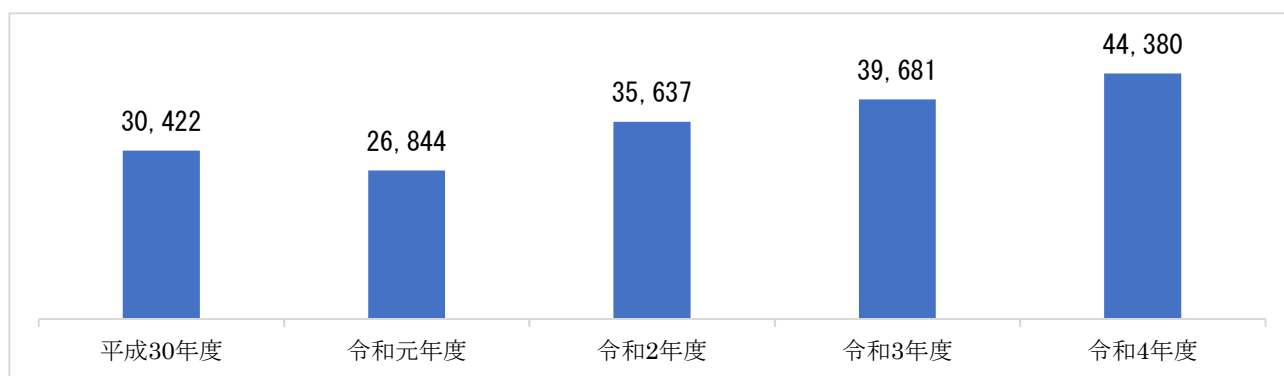
件数		地域								合計
		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	
（65歳以上） 高齢者人口	高齢者人口※1	7,471	7,964	7,480	6,307	5,835	5,545	7,862	8,193	56,657
	高齢化率	21.0%	20.3%	18.0%	17.8%	17.4%	19.1%	21.8%	21.6%	19.6%
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.1%	13.2%	11.1%	10.3%	9.8%	13.9%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	1,362	2,141	1,027	1,188	899	927	1,810	2,344	11,698
	電話	3,163	4,138	2,636	1,926	2,719	1,902	3,600	4,349	24,433
	訪問	996	559	519	505	488	452	1,153	1,318	5,990
	メール・郵便・FAX	291	136	125	216	112	107	225	418	1,630
	その他（※2）	84	129	24	67	51	100	69	105	629
	計	5,896	7,103	4,331	3,902	4,269	3,488	6,857	8,534	44,380
主たる相談者	本人	2,440	1,848	1,323	1,399	1,113	975	2,440	2,778	14,316
	家族等	1,359	1,984	1,213	1,191	1,299	824	1,730	2,132	11,732
	地域住民	114	91	105	43	86	44	71	99	653
	ケアマネジャー	926	1,417	672	703	757	798	1,490	2,031	8,794
	関係機関	1,008	1,647	1,013	556	1,002	838	1,102	1,482	8,648
	その他	49	116	5	10	12	9	24	12	237
	計	5,896	7,103	4,331	3,902	4,269	3,488	6,857	8,534	44,380

※1 高齢者人口は令和5年1月1日現在

※2 「呼びかけ事業（郵送）」による相談を含む

※3 休日夜間相談や出張相談の一部を含む

(2) 地域包括支援センターの相談件数の推移（平成30年度～令和4年度）



※地域包括支援センターの相談件数を平成30年度から示した。令和2年度以降は、相談者の状況を鑑み、アウトリーチ的に相談の機会を拡充している。（呼びかけ事業、夜間緊急・休日電話相談窓口、区民ひろば出張相談など）

(3) 相談内容延べ件数の推移

年度	30	元	2	3	4
介護保険	15,898	13,415	16,292	19,268	21,872
介護予防プラン及び 新予防給付プラン関連	4,598	4,357	3,003	3,236	3,691
介護予防事業関連	325	325	311	557	1,099
一般施策(※1)	4,140	3,853	3,560	4,327	4,904
医療・看護・保健	10,897	9,752	7,826	10,551	12,917
権利擁護	1,544	1,457	1,573	2,288	1,814
虐待	761	794	1,036	817	677
生活・経済について(※2)	7,680	6,834	7,688	8,738	10,412
障害者制度について	270	250	149	218	138
介護保険と一般施策以外のサービスに関する相談(在宅サービス)	3,347	3,057	470	602	800
その他(※3)	5,120	3,879	1,554	1,636	3,314
認知症	3,927	3,362	3,304	4,174	5,094
計	58,507	51,335	46,766	56,412	66,732

- ※1 紙おむつ支給、おむつ購入費助成、福祉電話の貸出し、救急通報システム、救急医療情報キット、火災安全システム、寝具乾燥、出張理美容、高齢者あんしん位置情報サービス、高齢者補聴器購入助成、自立支援住宅改修、車椅子短期貸出の相談・申請
- ※2 生活保護、アパート立ち退き、ごみ、近隣関係、住まい（介護保険外の施設、養護老人ホーム、安心住まい等）
- ※3 苦情、関係機関からの情報提供（実態調査票の受け渡しなど）

(4) 高齢者の夜間緊急・休日相談窓口

令和3年度から、地域包括支援センターの開設時間外において、高齢者及びその家族や関係機関からの電話相談や通報に対応するため電話相談窓口を設置した。令和4年度の相談内容としては、問い合わせが最も多く、次いで健康に関する相談となっている。

包括圏域別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
菊かおる園	3	3	4	2	2	0	1	1	4	0	0	6	26
東部	0	0	0	0	2	1	1	0	2	2	1	0	9
中央	1	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	6
ふくろう	0	0	0	4	1	4	0	0	2	0	0	0	11
医師会	0	0	1	0	1	0	2	1	0	1	0	1	7
いけよん	1	0	0	1	0	0	0	1	2	1	0	0	6
アトリエ	2	10	4	2	0	10	5	3	4	2	4	2	48
西部	1	0	0	3	2	3	2	3	1	0	1	0	16
不明	1	2	12	8	3	3	3	3	4	4	5	7	55
合計	9	15	21	20	13	21	14	13	20	11	11	16	184

相談別件数

介護に関すること	23
健康相談	35
安否確認・対応依頼	19
身元・親族照会	3
話を聞いてほしい	16
問い合わせ等	77
事務連絡	11

相談者別件数

本人	62
家族・親族	25
友人・近隣・大家	6
民生委員	1
配食サービス	5
警察署・消防署・病院	11
包括職員・区役所	11
介護関係者	3
不明・匿名	60

コールセンター経由で地域包括支援センターに連絡が入り、開設時間外に直接対応した件数については右表のとおりである。配食業者、病院など関係機関から安否・状況確認の依頼があり、対応していることが多い。

包括センター対応実績

	令和3年度	令和4年度
電話対応	7	13
出勤対応	1	7
合計	8	20

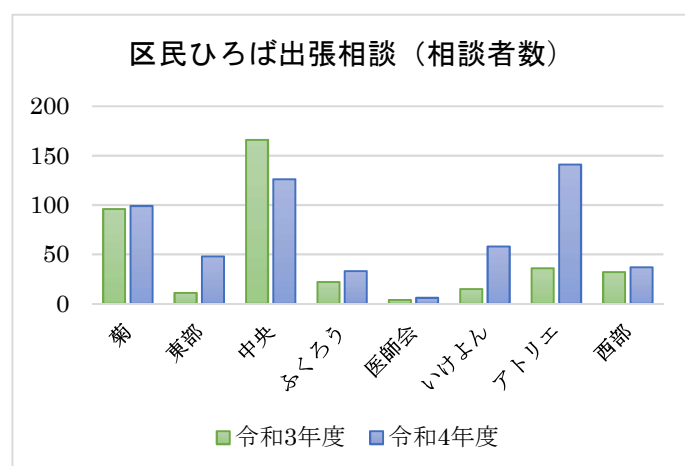
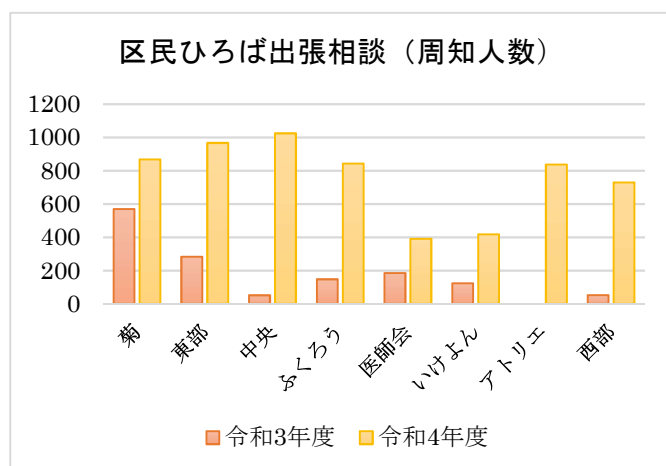
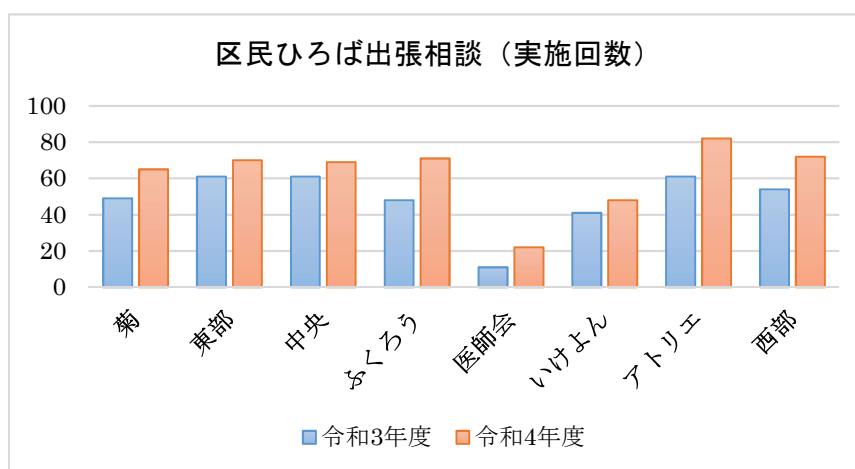
開設時間外の包括対応事例

- ・遠方に住む親族より連絡。連絡をとっているが繋がらない。安否が心配(平日・夜間)
→自宅訪問。中からはラジオの音聞こえるが応答なし。周辺確認を行っている間に本人帰宅
- ・配食業者より連絡。不在の為置き配とした方が取られていない。電話応答なく、電気がついている(平日・夜間)
→自宅訪問。門扉や窓すべてに施錠され、電話や呼び鈴も応答なし。状況を家族に連絡、折り返しのメッセージで家族にて即対応。浴室で倒れていたところを発見し、救急搬送の対応となった
- ・病院より連絡。介護者が緊急搬送されてきたが、認知症の配偶者が自宅に残されているようだ(土曜日・夜間)
→担当ケアマネジャーより相談が入り、地域ケアグループと連携して緊急ショート対応となった

(5) 区民ひろば出張相談

令和3年度から地域包括支援センター職員による区民ひろばへの出張相談を開始した。高齢者にとって身近な場所で、介護保険や認知症、権利擁護等の「高齢者に関する専門的な相談」への対応が可能となった。また、区民ひろば職員やCSWと連携を図り、気になる高齢者への見守り体制の強化とともに、高齢者の家族や近隣住民等からも相談できるよう、センターの役割の周知・普及啓発も行っている。

包括名	ひろば数	実施回数		周知人数		相談者数	
		令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
菊	3	49	65	570	868	96	99
東部	3	61	70	283	967	11	48
中央	3	61	69	51	1,025	166	126
ふくろう	3	48	71	147	843	22	33
医師会	1	11	22	185	390	4	6
いけよん	2	41	48	123	418	15	58
アトリエ	5	61	82	0	837	36	141
西部	3	54	72	52	730	32	37
計	23	386	499	1,411	6078	382	548



(6) 令和4年度アウトリーチ事業相談統計 (令和4年4月～令和5年3月)

		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部	合計
高齢者人口 (65歳以上)	高齢者人口	7,471	7,964	7,480	6,307	5,835	5,545	7,862	8,193	56,657
	高齢化率	21.0%	20.3%	18.0%	17.8%	17.4%	19.1%	21.8%	21.6%	19.6%
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.1%	13.2%	11.1%	10.3%	9.8%	13.9%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	1,035	951	834	866	618	923	1,079	1,047	7,353
	電話	488	1,161	632	1,242	1,564	784	744	1,259	7,874
	訪問	521	357	478	551	559	654	241	652	4,013
	その他	181	270	18	460	658	232	317	115	2,251
	計	2,225	2,739	1,962	3,119	3,399	2,593	2,381	3,073	21,491
主たる相談者	本人	884	1,153	784	1,472	1,330	1,187	584	1,100	8,494
	家族・親族	351	288	266	457	499	410	372	492	3,135
	近隣・知人	25	55	28	69	65	32	38	90	402
	行政関係者	187	250	56	185	530	135	366	150	1,859
	関係機関	48	119	41	174	75	33	28	165	683
	民生・児童委員	396	681	669	510	483	437	629	649	4,454
	医療機関・介護事業者等	316	165	115	245	373	354	358	426	2,352
	見守りボランティア等 (NPO等地域団体を含む)	2	19	2	1	1	1	1	1	28
	その他	16	9	1	6	43	4	5	0	84
	計	2,225	2,739	1,962	3,119	3,399	2,593	2,381	3,073	21,491

※ 高齢者人口は令和5年1月1日現在

(7) 令和4年度地域包括支援センター事業実績（令和4年4月～令和5年3月）

件数										合計	
		菊	東部	中央	ふくろう	医師会	いけよん	アトリエ	西部		
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数	996	559	519	505	488	452	1,153	1,318	5,990	
	ケアマネジャー相談実件数※	926	1,417	672	703	757	798	1,490	2,031	8,794	
	個別ケース検討会議開催回数	14	33	25	14	25	18	31	15	175	
	地区懇談会開催回数	3	4	4	1	3	4	2	4	25	
	出張講座等開催回数	13	37	30	9	21	2	3	2	117	
	地域における会議体への出席回数	28	14	8	23	5	23	13	6	120	
	地域活動への参加(会議以外)	10	10	21	1	14	23	2	29	110	
介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数	140	153	163	144	152	111	207	214	1,284	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	74	89	64	84	78	27	120	50	586
		委託件数	66	64	99	60	74	84	87	164	698
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数	116	140	79	63	79	66	109	142	794	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	80	86	38	35	52	27	63	45	426
		委託件数	36	54	41	28	27	39	46	97	368

※ケアマネジャー相談件数は、平成28年度より実情に合わせて実件数とした。

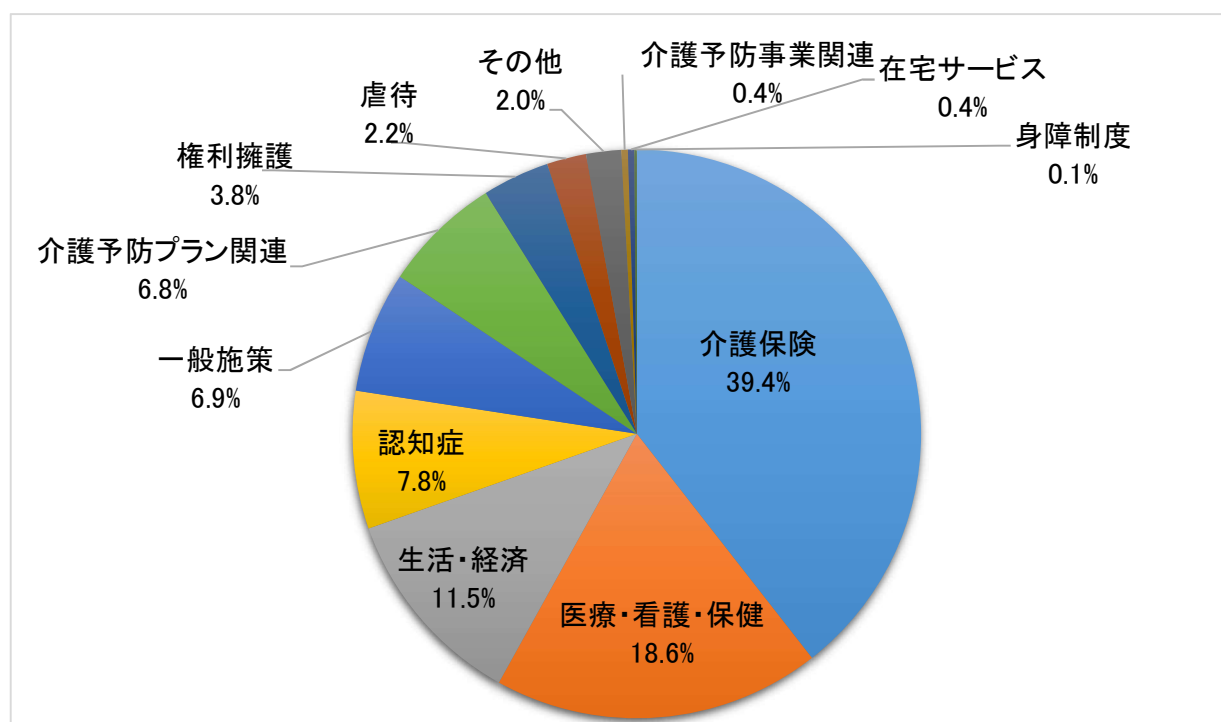
(8) 包括的・継続的ケアマネジメント支援について（令和4年度）

① ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーからの相談件数。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	666	643	773	710	761	667	741	714	800	813	756	750	8,794

ケアマネジャー相談内容内訳



- ・相談件数は昨年度より 704 件（8.6%）増加。
- ・相談内容内訳の構成については、大きな変化はなかった。
- ・ポイント増加項目上位は、「医療・看護・保健（2.4ポイント増）」、「生活・経済（0.9ポイント増）」、「認知症（0.6ポイント増）」
- ・ポイント減少項目上位は「予防プラン関連（1.5ポイント減）」、「介護保険（1.4ポイント減）」、「虐待（0.5ポイント減）」

② 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

関係機関の連携は双方向の連携から、目的に応じた既存の連携体制と別の体制を組み合わせたネットワークを構築している。相談内容の多様化や複雑化に伴い、地域ぐるみで問題解決に向けた取り組みを行っていることがわかる。

項 目	内 容
関係機関との連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○リーガルサポートやサポートとしまとの連携 (成年後見の申立支援・地域福祉権利擁護事業の利用支援の増加) ○地域保健課・障害福祉課・子ども若者課等関係部課署との連携 (多問題家族・高齢者の親と障害のある子の世帯への対応) ○東京都精神保健福祉センター、健康長寿医療センターとの連携 (アウトリーチ事業・専門相談の活用) ○介護予防に関する関係機関や、実践者との連携 (地域住民との意見交換、地域の多職種参加による地域ケア会議) ○ケアマネジャーとの学びあい、相互理解
医療機関との連携体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ○多職種連携会議による連携 (災害時対応・生活保護制度・総合事業・認知症等に関する学習会) ○医療機関や職能団体との連携強化 (研修講師依頼・地域連携の共有や地域課題の共有) ○入退院時支援 (オンラインによる退院時カンファレンス実施増) ○MCS の活用による情報連携の円滑化 ○医療機関に向け在宅支援申込書(つなげるシート)の普及の実施
地域のインフォーマルサービスとの連携作り	<ul style="list-style-type: none"> ○サロン立ち上げができそうな方との出会い ○つながるサロン立ち上げ支援・地域の担い手支援 (地域のレンタルスペース活用・介護予防リーダーやサロンサポーター等担い手情報交換会実施によるバックアップ・第2層生活支援コーディネーターとの協力体制) ○安否確認通報をきっかけとした配食サービスとの連携調整 ○民生委員や自治会・町会との連携 (高齢者のサロン参加や出張講座の協働) ○認知症勉強会実施を通じた地域住民への働きかけ (区民ひろば・地域のケアマネジャー・介護事業所に協力依頼) ○認知症カフェメンバーと協力したステッカー活動の再開 ○インフォーマルサービスのケアプランへの反映に向けた取り組み
介護支援専門員支援	<ul style="list-style-type: none"> ○12月に東西に分かれた全包括と、ケアマネジャー地区懇談会実施 地域のケアマネジメント業務の課題を共有。 ○3月に包括合同研修実施

※介護支援専門員向け研修会・勉強会の実施については、別紙「令和4年度 包括主催ケアマネジャー研修一覧」参照。

2. 運営事業委託実施報告・実施計画

(1) 令和4年度実績報告

① 委託事業所8事業所

(ア) 菊かおる園地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(イ) 東部地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ウ) 中央地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区民社会福祉協議会)
(エ) ふくろうの杜地域包括支援センター	(社会福祉法人	敬心福祉会)
(オ) 豊島区医師会地域包括支援センター	(公益社団法人	豊島区医師会)
(カ) いけよんの郷地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)
(キ) アトリエ村地域包括支援センター	(社会福祉法人	豊島区社会福祉事業団)
(ク) 西部地域包括支援センター	(社会福祉法人	フロンティア)

② 執行状況

令和4年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和4年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額及び執行額

4年度	金額	内訳	備考
予算	384,680,320円		
執行額	383,405,660円	① 52,379,880円 ② 51,793,040円 ③ 49,438,540円 ④ 49,183,040円 ⑤ 48,409,540円 ⑥ 48,044,040円 ⑦ 45,184,540円 ⑧ 38,973,040円	・令和3年度より、夜間・休日等の相談に対応するため、委託料(単価契約分)を増額した。 ・令和3年度より、訪問、出張相談、介護予防推進支援、見守り強化のため、各地域包括支援センター1名の非常勤職員の職員経費分を増額した。
執行残	1,274,660円		執行率 99.7%

(2) 令和5年度実施計画

① 委託事業所8事業所

- (ア) 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (イ) 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ウ) 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)
- (エ) ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)
- (オ) 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)
- (カ) いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)
- (キ) アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- (ク) 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

② 執行状況及び計画

令和5年4月1日 運営法人と委託契約締結

令和5年5月 各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行

③ 委託料予算額

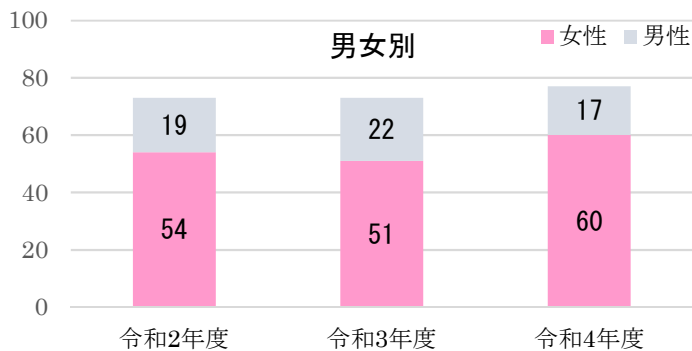
5年度	金額	内訳	備考
予算額	391,166,280 円		
総価分	386,158,280 円	① 55,799,160 円 ② 53,144,160 円 ③ 49,829,160 円 ④ 48,921,160 円 ⑤ 48,918,160 円 ⑥ 46,690,020 円 ⑦ 44,658,160 円 ⑧ 38,198,300 円	
単価分	5,008,000 円	@500,000×8 事業所 @126,000×8 事業所	

(3) 高齢者虐待受理状況の推移（地域包括支援センター等から受理した件数）

令和2年度～令和4年度（令和5年3月末時点）

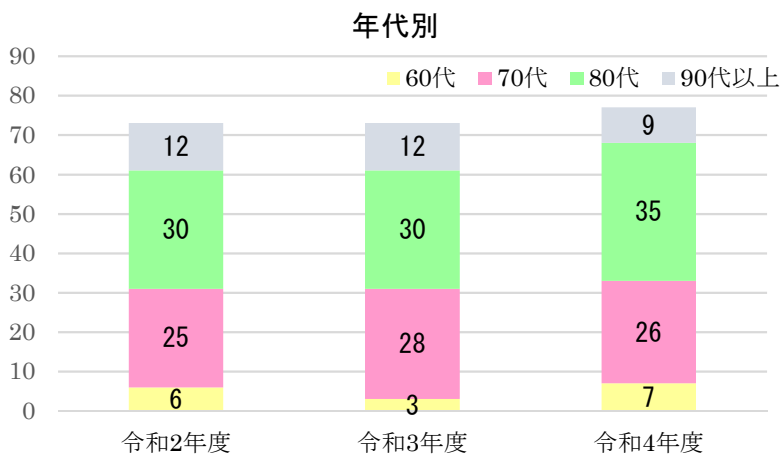
① 被虐待者の内訳（男女別）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	19	26.0%	22	26.0%	17	22.1%
女性	54	74.0%	51	74.0%	60	77.9%
合計	73	100.0%	73	100.0%	77	100.0%



② 被虐待者の内訳（年齢別）

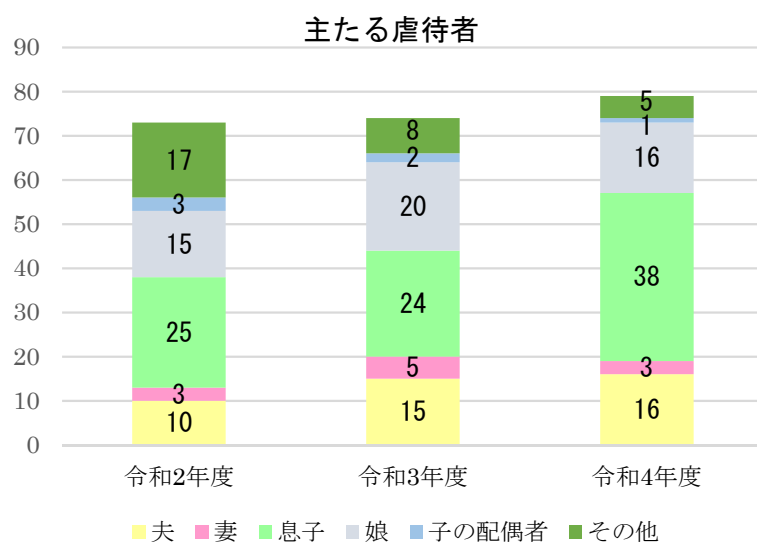
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
60代	6	8.0%	3	4.1%	7	9.0%
70代	25	34.0%	28	38.4%	26	33.8%
80代	30	42.0%	30	41.1%	35	45.5%
90代以上	12	16.0%	12	16.4%	9	11.7%
合計	73	100.0%	73	100.0%	77	100.0%



③ 主たる虐待者（重複あり）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
夫	10	13.7%	15	20.3%	16	20.3%
妻	3	4.1%	5	6.8%	3	3.8%
息子	25	34.2%	24	32.4%	38	48.1%
娘	15	20.5%	20	27.0%	16	20.3%
子の配偶者	3	4.1%	2	2.7%	1	1.3%
その他※	17	23.3%	8	10.9%	5	6.4%
合計	73	100.0%	74	100.0%	79	100.0%

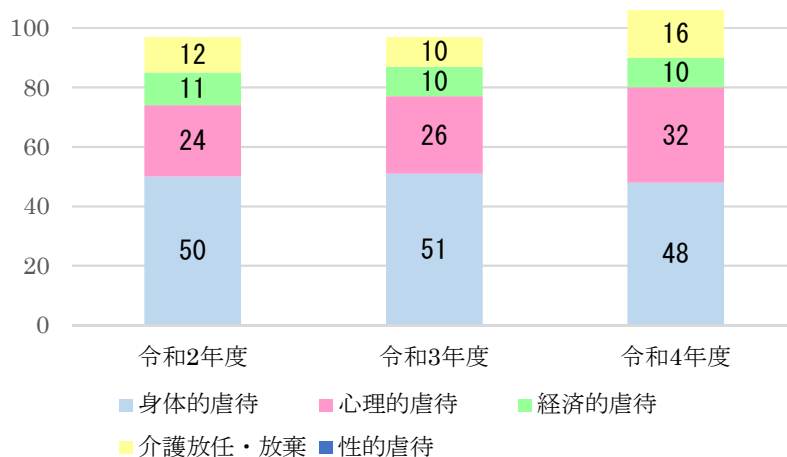
※元夫、孫、兄弟姉妹、甥



④ 虐待の種類（重複あり）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身体的虐待	50	51.5%	51	69.9%	48	62.3%
心理的虐待	24	24.7%	26	35.6%	32	41.6%
経済的虐待	11	11.3%	10	13.7%	10	13.0%
介護放任・放棄	12	12.4%	10	13.7%	16	20.8%
性的虐待	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	97	100.0%	97	100.0%	106	100.0%

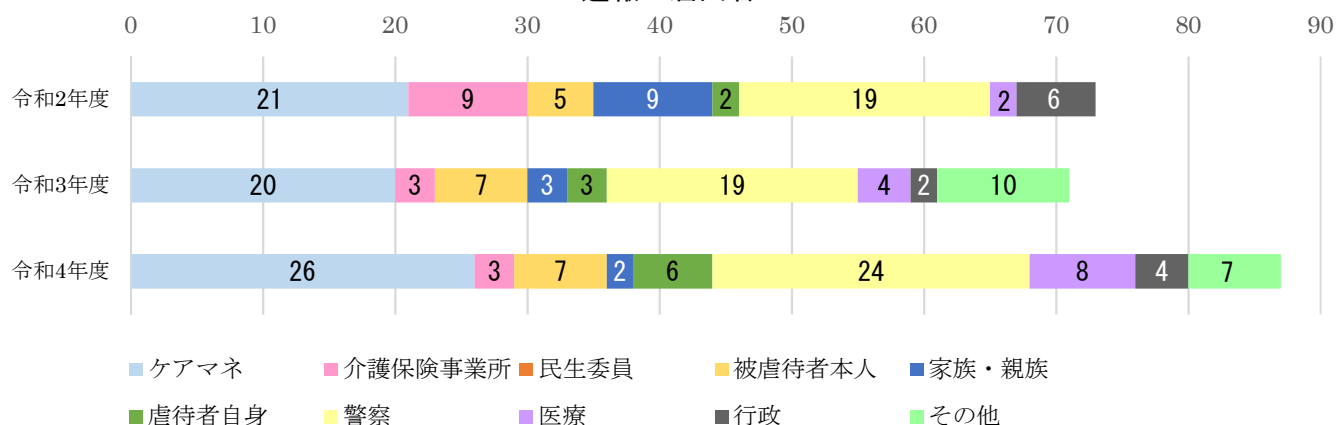
虐待の種類



⑤ 通報・届出者（重複あり）

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
ケアマネ	21	28.8%	20	28.2%	26	29.9%
介護保険事業所	9	12.3%	3	4.2%	3	3.4%
民生委員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
被虐待者本人	5	6.8%	7	9.9%	7	8.0%
家族・親族	9	12.3%	3	4.2%	2	2.3%
虐待者自身	2	2.7%	3	4.2%	6	6.9%
警察	19	26.0%	19	26.8%	24	27.6%
医療	2	2.7%	4	5.6%	8	9.2%
行政	6	8.2%	2	2.8%	4	4.6%
その他	0	0.0%	10	14.1%	7	8.0%
合計	73	100.0%	71	100.0%	87	100.0%

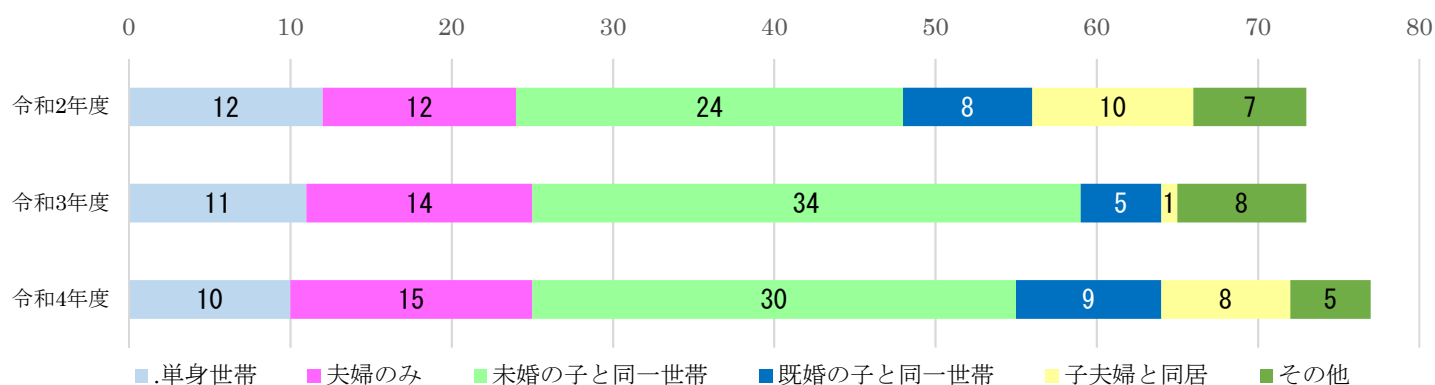
通報・届出者



⑥ 世帯構成

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
単身世帯	12	16.4%	11	15.1%	10	13.0%
夫婦のみ	12	16.4%	14	19.2%	15	19.5%
未婚の子と同一世帯	24	32.9%	34	46.6%	30	39.0%
既婚の子と同一世帯	8	11.0%	5	6.8%	9	11.7%
子夫婦と同居	10	13.7%	1	1.4%	8	10.4%
その他	7	9.6%	8	10.9%	5	6.5%
合計	73	100.0%	73	100.0%	77	100.0%

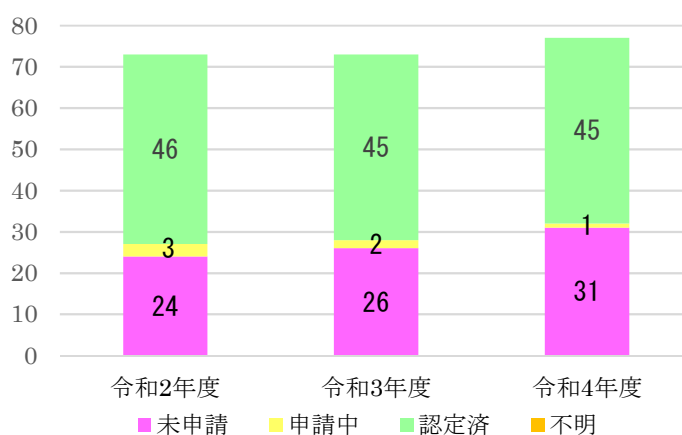
世帯構成



⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

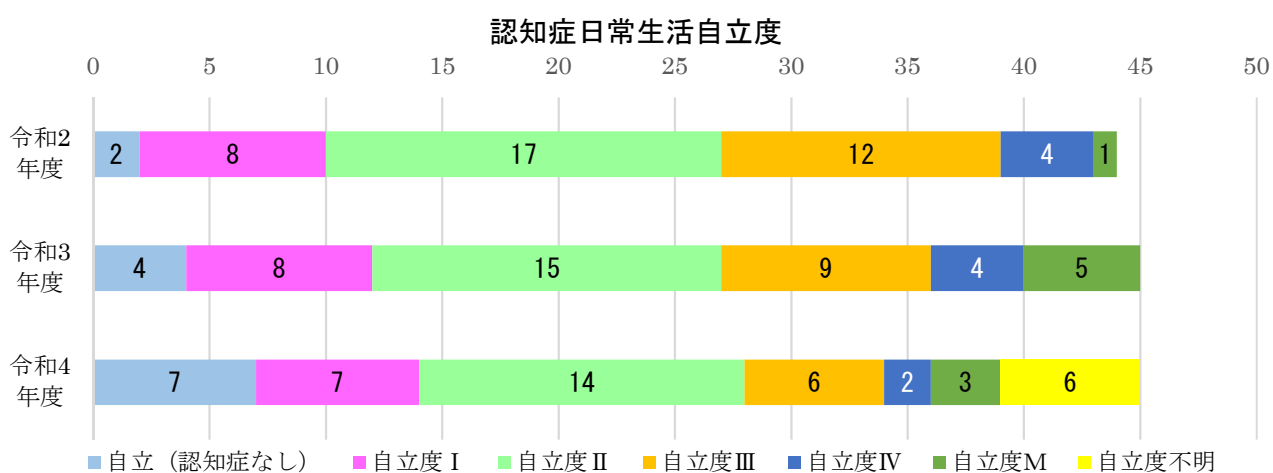
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
未申請	24	32.9%	26	35.6%	31	40.3%
申請中	3	4.1%	2	2.7%	1	1.3%
認定済	46	63.0%	45	61.6%	45	58.4%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	73	100.0%	73	100.0%	77	100.0%

介護保険申請状況



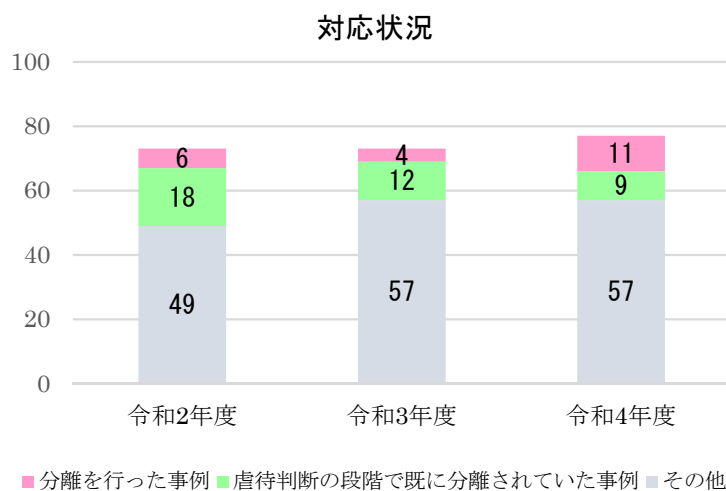
⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自立(認知症なし)	2	4.5%	4	8.9%	7	15.6%
自立度Ⅰ	8	18.2%	8	17.8%	7	15.6%
自立度Ⅱ	17	38.6%	15	33.3%	14	31.1%
自立度Ⅲ	12	27.3%	9	20.0%	6	13.3%
自立度Ⅳ	4	9.1%	4	8.9%	2	4.4%
自立度M	1	2.3%	5	11.1%	3	6.7%
自立度不明	0	0.0%	0	0.0%	6	13.3%
合計	44	100.0%	45	100.0%	45	100.0%



⑨ 対応状況

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	18	24.7%	12	16.4%	9	11.7%
分離を行った事例	6	8.2%	4	5.5%	11	14.3%
その他	49	67.1%	57	78.1%	57	74.0%
合計	73	100.0%	73	100.0%	77	100.0%



※内訳（重複あり）

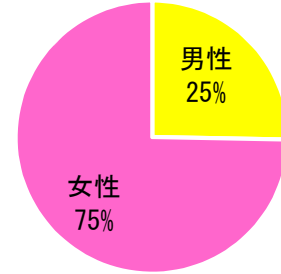
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	件数	件数	件数
養護者に対する助言	21	25	32
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	0	1	2
新たに介護保険サービスを利用	3	8	13
介護保険サービスのケアプランの見直し	11	18	26
介護保険サービス以外のサービスを利用	2	6	6
経過観察(見守り)	19	13	40
その他	5	6	24

(4) 令和3年度東京都高齢者虐待受理状況
令和4年3月末現在

① 被虐待者の内訳（男女別）

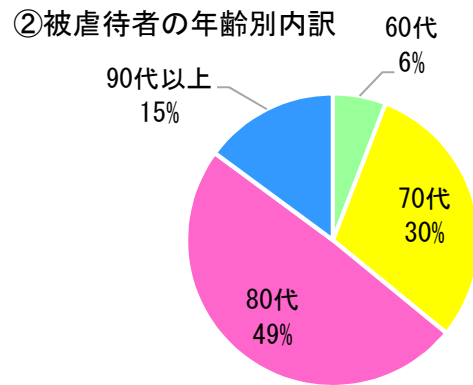
	人数	割合
男性	673	25.3%
女性	1,989	74.7%
合計	2,662	100.0%
令和2年度	2,829	6%増

①被虐待者の内訳（男女別）



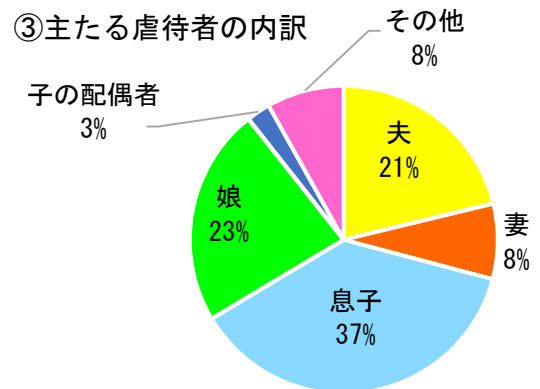
② 被虐待者の内訳（年齢別）

	人数	割合
60代	156	5.9%
70代	800	30.1%
80代	1,310	49.2%
90代以上	396	14.9%
合計	2,662	100.0%



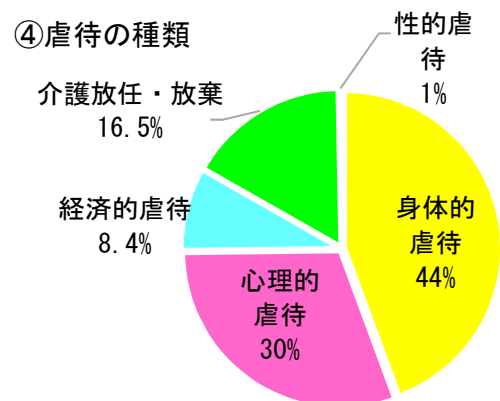
③ 主たる虐待者（重複あり）

	人数	割合
夫	591	21.2%
妻	220	7.9%
息子	1,039	37.3%
娘	639	22.9%
子の配偶者	70	2.5%
その他	226	8.1%
合計	2,785	100.0%



④ 虐待の種類（重複あり）

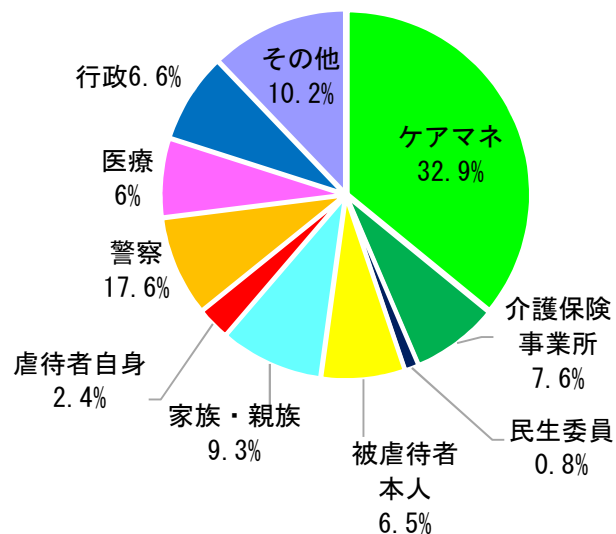
	件数	割合
身体的虐待	1,687	44.4%
心理的虐待	1,156	30.4%
経済的虐待	321	8.4%
介護放任・放棄	626	16.5%
性的虐待	11	1.0%
合計	3,801	100.0%



⑤ 通報・届出者（重複あり）

	件数	割合
ケアマネ	1,431	32.9%
介護保険事業所	331	7.6%
民生委員	35	0.8%
被虐待者本人	284	6.5%
家族・親族	403	9.3%
虐待者自身	104	2.4%
警察	766	17.6%
医療	262	6.0%
行政	286	6.6%
その他	443	10.2%
合計	4,345	100%

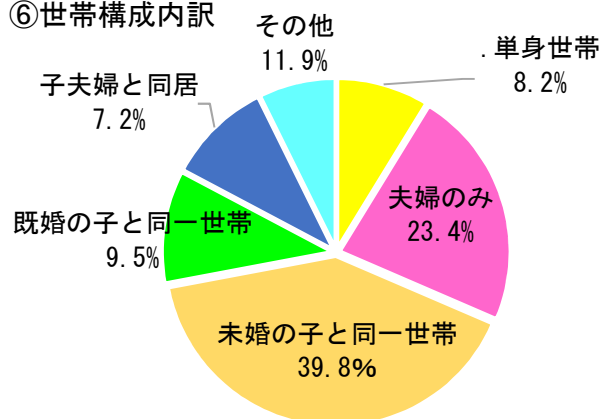
⑤通報者内訳



⑥ 世帯構成

	人数	割合
単身世帯	217	8.2%
夫婦のみ	624	23.4%
未婚の子と同一世帯	1,059	39.8%
既婚の子と同一世帯	253	9.5%
子夫婦と同居	191	7.2%
その他	318	11.9%
合計	2,662	100.0%

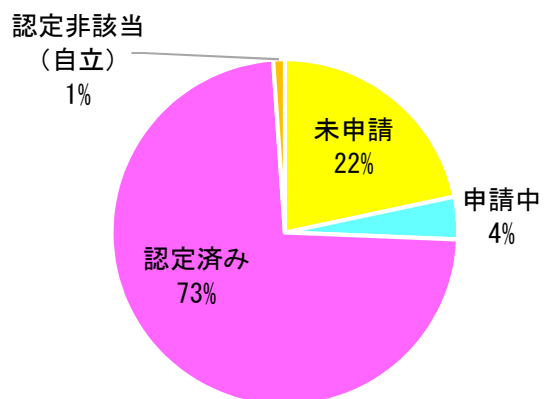
⑥世帯構成内訳



⑦ 被虐待者の介護保険の申請状況

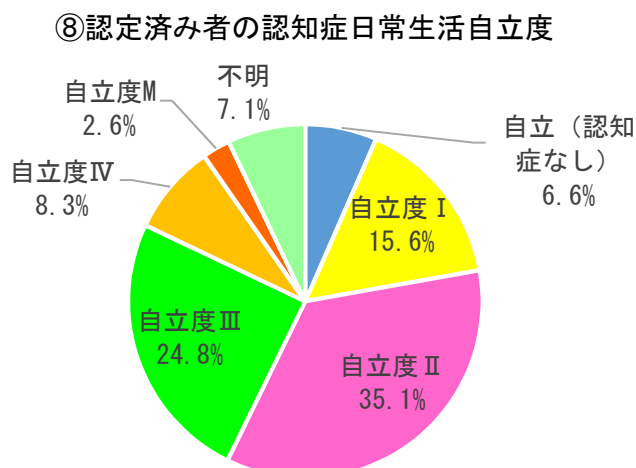
	人数	割合
未申請	577	21.7%
申請中	105	3.9%
認定済	1,951	73.3%
認定非該当(自立)	29	1.1%
合計	2,662	100.0%

⑦被虐待者の介護保険の申請状況



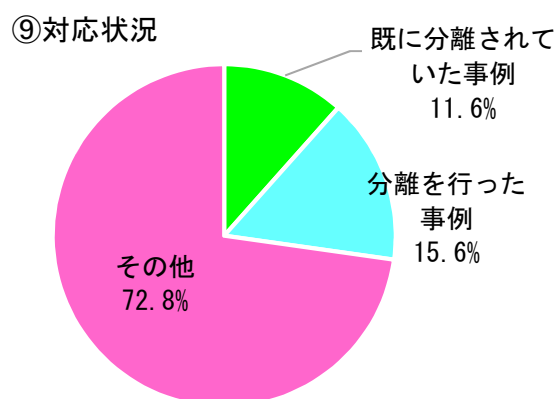
⑧ 認定済み者の認知症日常生活自立度

	人数	割合
自立（認知症なし）	128	6.6%
自立度Ⅰ	305	15.6%
自立度Ⅱ	684	35.1%
自立度Ⅲ	484	24.8%
自立度Ⅳ	161	8.3%
自立度Ⅴ	50	2.6%
自立度不明	139	7.1%
合計	1951	100.0%



⑨ 対応状況

	人数	割合
①虐待判断の段階で既に分離されていた事例	486	11.6%
②分離を行った事例	657	15.6%
③その他※	3,056	72.8%
合計	4,199	100.0%



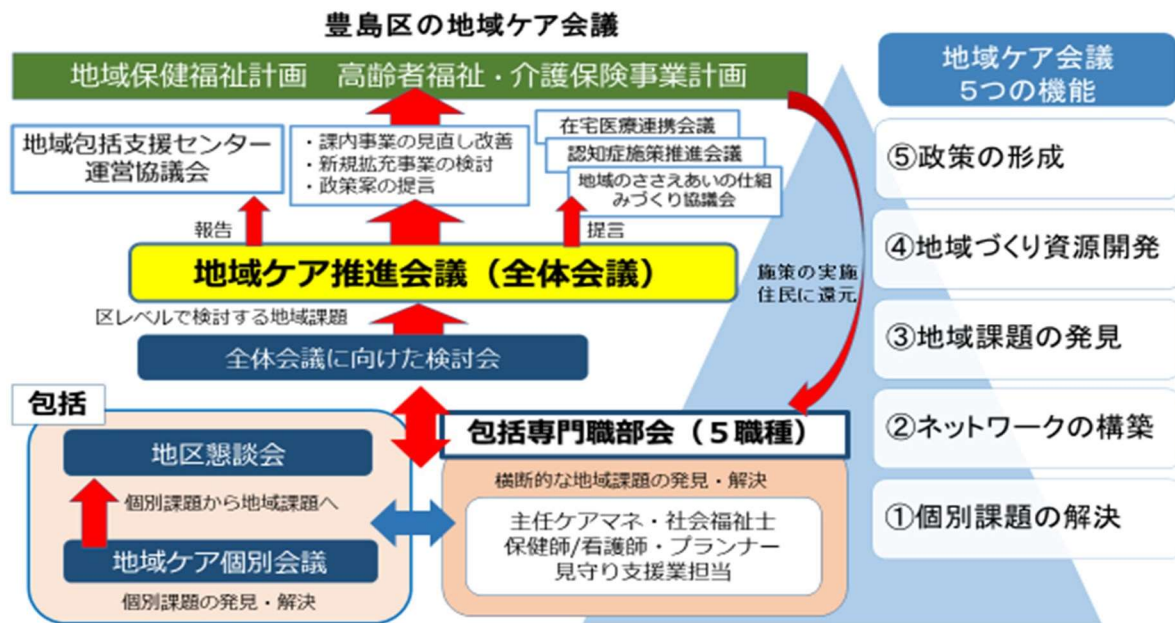
※内訳（重複あり）

	件数
養護者に対する助言	1,369
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	76
新たに介護保険サービスを利用	172
介護保険サービスのケアプランの見直し	692
介護保険サービス以外のサービスを利用	102
経過観察（見守り）	595
その他	329

3. 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

(1) 地域ケア会議について

- 令和3年度より、豊島区地域ケア会議体系図のとおり、縦横断的に地域課題に取り組む体制を整備している。
- 令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響から地域ケア個別会議・地域ケア推進会議ともに制約がある中、オンラインやハイブリッド開催に変更するなど柔軟に対応した。



① 地域ケア個別会議

(ア) 「元気はつらつ報告会」（自立支援型地域ケア会議）

高齢者の「本人らしい生活」の実現に向けて多職種の専門的な視点に基づく検討を行う。

(イ) 「生活援助プラン地域ケア会議」（区主催）

厚労省が定める回数以上の回数の訪問介護（生活援助）を位置付けたケアプランについて、自立支援・重度化防止の観点から多職種で検討を行う。

(ウ) 「個別会議」（包括主催）

支援困難ケースの課題検討、ケアマネジャー等の関係者支援を行う。

地域ケア個別会議（区主催）		
(ア) 元気はつ らつ報告 会	(イ) 生活援助ケ アプラン地 域ケア会 議	総計 (件)
4	2	6

種別	(ア) 包括主催元 気はつらつ 報告会	(ウ) 個別会議	総計
	個 地 別 域 会 ケ 議 ア	1	
菊	1	33	34
東部	1	25	26
中央	2	14	16
ふくろう	2	25	27
医師会	3	18	21
いげよん	1	31	32
アトリエ	4	15	19
西部			
総計（件）	15	175	190

② 地域ケア推進会議

(ア)「地域ケア会議全体会議」(区主催)

区レベルで、地域課題解決策の方向性を検討し、地域づくり・資源開発、政策の形成を目指す。

(イ)「全体会議に向けた検討会」(区主催)

全体会議で検討する地域課題の分析・選定を行う。

(ウ)「主任介護支援専門員地域ケア会議会」(区主催)

介護支援専門員の支援に向けた検討を行う。

(エ)「地区懇談会」(包括主催)

地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う。

地域ケア推進会議(区主催)			
(ア)全体会議	(イ)全体会議に向けた検討会	(ウ)主任介護支援専門員地域ケア会議	総計
1	8	0	9

※(ウ)未実施の理由
新型コロナウイルス感染防止期間の延長により、令和3年度同様に(ウ)の地域ケア会議に替えて、包括の主任ケアマネジャー専門部会にて課題の抽出を行った。

種別		(エ)地区懇談会
地域ケア推進会議	菊	3
	東部	4
	中央	4
	ふくろう	1
	医師会	3
	いけよん	4
	アトリエ	2
	西部	4
総計(回)		25

(2) センター長連絡会

各包括間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して平成27年度新たに設定した、各包括のセンター長を招集する会議。毎月1回、原則9時から1時間30分程度、事務連絡の他、包括全体で打ち合わせを必要とする課題について検討を行った。

関係機関からの要請による事業説明や連絡事項のほか、課題にかかわる担当者にも出席を依頼し実施している。

回	実施日	内容
第1回	4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時のセンターの連絡網と参集調査について ○終活情報登録事業、緊急ショートステイ事業について ○令和4年度介護予防事業、認知症初期集中支援チームマニュアルについて ○令和4年度豊島区介護予防・日常生活支援総合事業説明会および介護予防ケアマネジメント作成研修、通所型サービス事業、介護予防ケアマネジメント作成依頼等の窓口持込等 ○令和4年度熱中症対策事業 概要説明

回	実施日	内容
		○令和4年度プロジェクトチーム・会議メンバーの選出依頼
第2回	5月18日	○臨時特別給付金勸奨業務の包括委託について ○包括ヒアリングの実施について ○Ayamu 操作説明について ○認知症対策・介護予防（区政90周年事業）について ○短期集中通所型サービスCについて ○令和4年度熱中症対策事業について ○単価請求新規追加について
第3回	6月21日 オンライン 開催	○介護予防支援事業所関係書類の押印の廃止について ○認知症施策・介護予防について ○各種プロジェクトチームの進捗状況報告 ○安否確認における夜間・土日対応について ○全体会議に向けた検討会について
第4回	7月19日	○令和4年度介護予防把握事業について ○通所B団体新規登録時の周知・通所B情報連絡会について ○後期高齢者医療制度の2割負担導入と保険料について ○令和3年度通所型サービス検討会のその後について
第5回	8月23日 オンライン 開催	○コロナ関連情報について ○90周年事業チラシ、第2回認知症施策推進会議について ○委託連携加算、ウォークラリー（90周年事業）について ○ウィズコロナにおける呼びかけ事業について ○WINCAREへの入力、個人情報の取り扱いについて
第6回	9月20日	○「豊島区安心住まいアパート見守り電球」について ○ひきこもり相談窓口について ○介護予防大作戦について、認知症対策について ○通所B利用者へのフレイルチェック及び更新について ○呼びかけ事業に関するWINCAREへの入力について ○包括職員向け各種研修について
第7回	10月18日	○リボンサービス・困りごと援助サービスの意見交換 ○包括安否確認リスト、MCS用iPadの更新について ○オミクロン株対応ワクチン、講演会の案内について ○意思決定支援ガイドライン研修について ○つながるサロン勉強会(仮称)の開催について ○訪問時における個人情報の取り扱いについて ○基本チェックリスト活用シート、総合事業サービスの活用シート（通所型サービス）について
第8回	11月22日	○価格高騰緊急支援交付金の勸奨について

回	実施日	内容
		<ul style="list-style-type: none"> ○地域デビューチラシ、スマホライフのすすめについて ○年末年始の緊急対応想定リストの作成について ○新型コロナウイルス感染症 第8波に向けて ○3C事業、としまる体操、絵本の読み聞かせ講座について ○MCS タブレットへの動画等の保存、認定申請非該当の方へ ○令和3年度 呼びかけ事業 返信の無い方への対応 ○区民ひろば出張相談の集計報告、全体会議・ケアマネジャー研修等の連絡事項について
第9回	12月20日 オンライン 開催	<ul style="list-style-type: none"> ○豊島区地域における動物の相談支援体制整備事業 ○MCS 活用状況、令和5年度のプラン収入について ○地域活躍ガイドについて ○年末年始の緊急対応想定リストの作成について ○担い手交流会、認知症関連の連絡会等について ○「つながるサロン」、通所型サービスBの更新について ○研修・会議等の案内、「つながるシート」の周知・活用
第10回	1月24日	<ul style="list-style-type: none"> ○見守り支援講座について ○担い手交流会、認知症対策について ○令和3年度地域ケア個別会議・地区懇談会集計結果報告 ○プラスチック資源回収 モデル事業の実施について ○WINCARE 上の相談記録の標準化について
第11回	2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケアシステムのさらなる推進に向けて ○認知症対策について（次年度の認知症支援講座） ○令和5年度一般施策の見直し、高齢者実態調査について ○令和5年度通所型サービスB・Cについて ○令和6年度以降のサービスA事業者指定について ○地域ケア3事業の資料提出方法について ○令和5年度包括単価契約、介護予防ケアマネジメント全体像と留意点、元気はつらつ報告会評価検討会、令和5年度元気はつらつ訪問について、令和3・4年度夜間緊急・休日電話相談窓口の集計結果報告と要望への回答
第12回	3月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度新規拡充事業：介護予防把握事業、精神障害への対応強化事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（健康状態未把握者の把握及び支援） ○虐待（疑）受付票2・3票の提出について ○令和5年度総合事業パンフレット、通所型サービスB運用 ○令和5年度入浴特化型デイサービスモデル事業の概要説明 ○個人番号カード顔写真証明書について

(3) 包括専門職部会

令和2年度下半期からは包括5職種による包括専門職部会として再編成し活動を開始した。専門職間の情報共有、スキルアップ、関係機関との連携強化、地域課題の抽出などを目的とし、年間計画を作成し、約2～3か月に1回の頻度で部会を開催している。

学習会等の内容に応じて関係機関の担当者へ出席を依頼。関係機関と顔の見える関係づくりを通し、連携強化の場となっている。事例検討においては、包括間の事例の共有や関係機関との連携の仕方、介入のポイント等を話し合い、成功事例の共有にもなっている。

① 社会福祉士部会（安否確認マニュアルプロジェクトチームの活動を含む）

2か月に1回、該当月の第3木曜日14時30分から2時間程度実施している。

第一部はスキルアップのための勉強会、第二部は事例検討を行っている。

令和4年度は、効果的に「安否確認マニュアル」を活用できるよう改訂に取り組み、見守り支援事業担当メンバーとともにプロジェクトチームを立ち上げた。

熱中症予防啓発の時期までに改訂版を作成し、各包括にてOJTを実施した。

回	実施日	内容
第1回	5月19日	○「安否確認マニュアル」見直しについて ○事例検討（事例提供：菊かおる園包括）
第2回	7月21日	○住宅課と包括の連携について （住宅課管理グループ担当係長より施策、入居高齢者の現状・課題、情報共有） ○事例検討（事例提供：東部包括）
第3回	9月15日	○成年後見制度に関して理解を深める （成年後見センター・リーガルサポート東京支部地区リーダー（豊島）より） ○事例検討（事例提供：ふくろうの杜包括）
第4回	11月17日	○相談記録の標準化について ○関係機関との連携を振り返り、効果と課題について ○事例検討（事例提供：豊島区医師会包括）
第5回	1月19日	○WINCARE上の相談記録の標準化に向けて ○来年度の社会福祉士部会について ○虐待マニュアルについて ○事例検討（事例提供：西部包括）

② 医療職部会

2か月に1回、該当月の第4金曜日 15時から2時間程度実施している。

課題に基づき、包括および課内、在宅医療相談窓口、保健所、障害福祉課、地域の医療機関等との連携を推進している。豊島区医師会包括と在宅医療相談窓口作成の「つなげるシート」の試行に向けて、部会で意見交換を行った。

回	実施日	内容
第1回	5月27日	○配布資料説明（難病関連、介護予防マニュアル、新規クリニック紹介など） ○前年度継続事項についての確認 ○地域ケア推進会議（全体会議）に向けて挙げた地域課題の取り扱いについて ○包括医療職部会の年間計画について ○保健・障害・医療関係との連携方法について
第2回	7月22日	○事例報告/保健所や障害福祉課との勉強会「認知症高齢者と統合失調症の長女との世帯に対する支援」 ○包括医療職部会 下半期計画について
第3回	9月30日	○在宅支援申込書（つなげるシート）について ○総合事業Gより通所C訪問Cについての情報提供 ○医療連携における困難事例について ○新型コロナウイルス感染症における情報提供など
第4回	11月25日	○在宅支援申込書（つなげるシート）について ○新型コロナウイルス感染症 第8波に向けての情報交換
第5回	1月27日	○都立大塚病院看護部ご挨拶 ○認知症本人・家族支援について意見交換 ○次年度の年間計画について

③ 主任ケアマネジャー専門部会

ケアマネジャーの資質向上と主任ケアマネジャーの育成に関する課題について、2か月に1回実施している。令和3年度の地域ケア会議全体会議で報告したケアマネジャーの課題について、12月に東西地域別のケアマネジャー地区懇談会で、地域のケアマネジャーに報告し共有を図った。3月には包括合同研修を実施した。

回	日程	内容
第1回	4月28日	○令和3年度活動内容の確認と令和4年度実施計画について ○地域同行型研修の実施について ○令和4年度区研修について
第2回	6月10日	○令和4年度区主催研修について ○ケアマネアンケートについて ○東京都主任介護支援専門員（更新）研修推薦について

回	日程	内容
第3回	8月1日	○ケアマネアンケートについて ○包括合同研修について ○東京都調査「主任介護支援専門員に係る調査」情報提供
第4回	10月5日	○ケアマネアンケートの結果について ○ケアマネジャー地区懇談会について
第5回	12月14日	○令和4年度地域包括合同地区懇談会振り返り（ケアマネジャー地区懇談会） ○合同研修について
第6回	2月6日	○ZOOM操作研修 ○合同地区懇談会（まとめ）について ○部会の運営・地域課題の確認 ○包括合同研修会役割分担・日程確認について

④ プランナー部会（総合事業 初期対応力向上プロジェクトチームの活動を含む）

年4～5回、部会を開催している。生活福祉課関連勉強会は包括職員全体での学習会として実施。

令和4年度は「総合事業初期対応力向上プロジェクトチーム」を立ち上げたが、全メンバーがプランナーであったこともあり、総合事業を効果的に活用するための「基本チェックリスト活用シート」や「総合事業サービス活用シート（通所型サービス）」について部会でも検討し共有した。また、介護予防ケアマネジメント帳票の取扱い上の課題についても検討した。

令和5年度から使用する帳票等の整理は主任ケアマネジャー専門部会メンバーも参加して行い、包括ごとのOJTにて周知した。

回	実施日	内容
第1回	6月2日	○総合事業初期対応力向上 PT の検討内容の確認（ケアマネジメント C の継続的にかかわりについて） ○情報共有（ケアマネジメントの種類とプロセスの一覧表について・通所 B について・チェックリスト、モニタリング、評価表について） ○全体会議の確認事項について
第2回	9月2日	○総合事業初期対応力向上 PT 検討内容の確認 ○基本チェックリスト活用の推奨例 ○サービス利用者の対象像について ○窓口用マニュアル作成のための意見交換
第3回	11月4日	○各包括でのプラン担当についてのアンケート結果の報告 ○総合相談の窓口対応状況について ○インテークからサービス開始までの流れについて

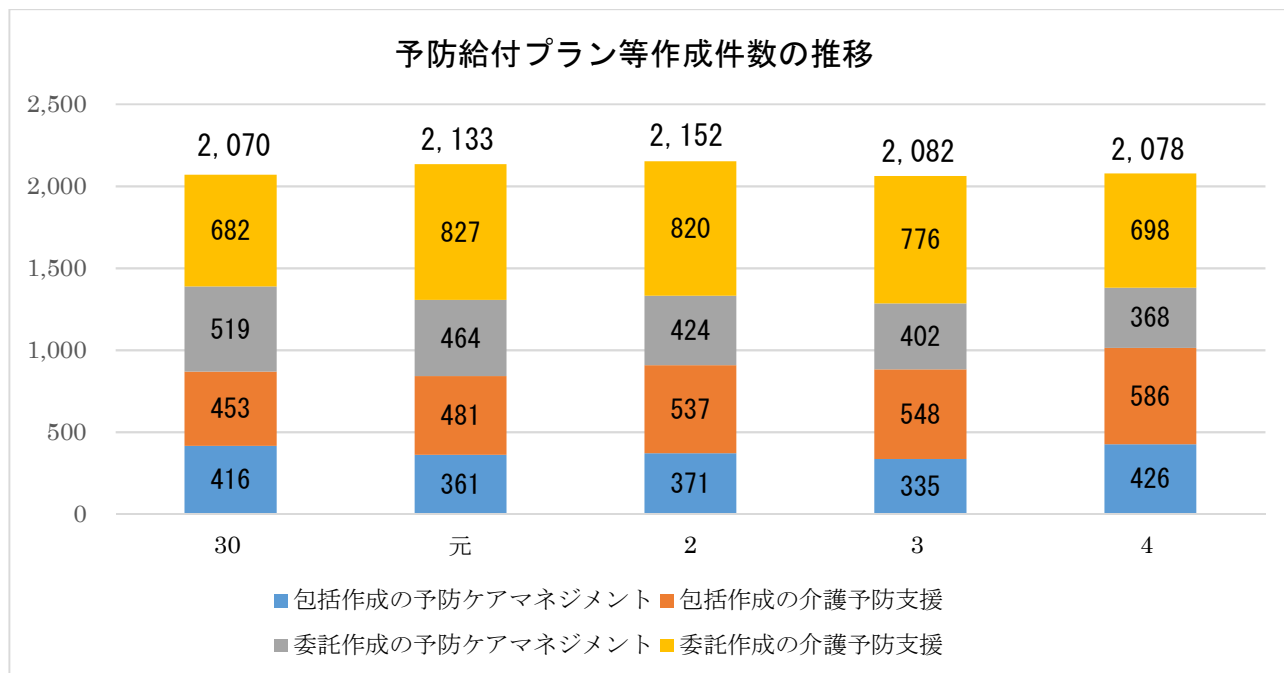
回	実施日	内容
		○日常業務の困りごとについて
第4回	1月20日	○生活福祉課関連勉強会（生活保護制度に関すること・プラン作成に関すること・みなし2号（65歳未満の方）の介護サービス利用に関すること）
第5回	2月3日	○ケアプラン帳票・運用の確認について ○生活福祉課関連学習会について ○部会の運用・目的・地域課題についての確認

⑤ 見守り支援事業担当者連絡会

令和4年度は今までの連絡会を継承し、2か月に1回、該当日の10時から2時間程度開催した。事務連絡の他、見守り支援担当間の情報共有の場となっている。

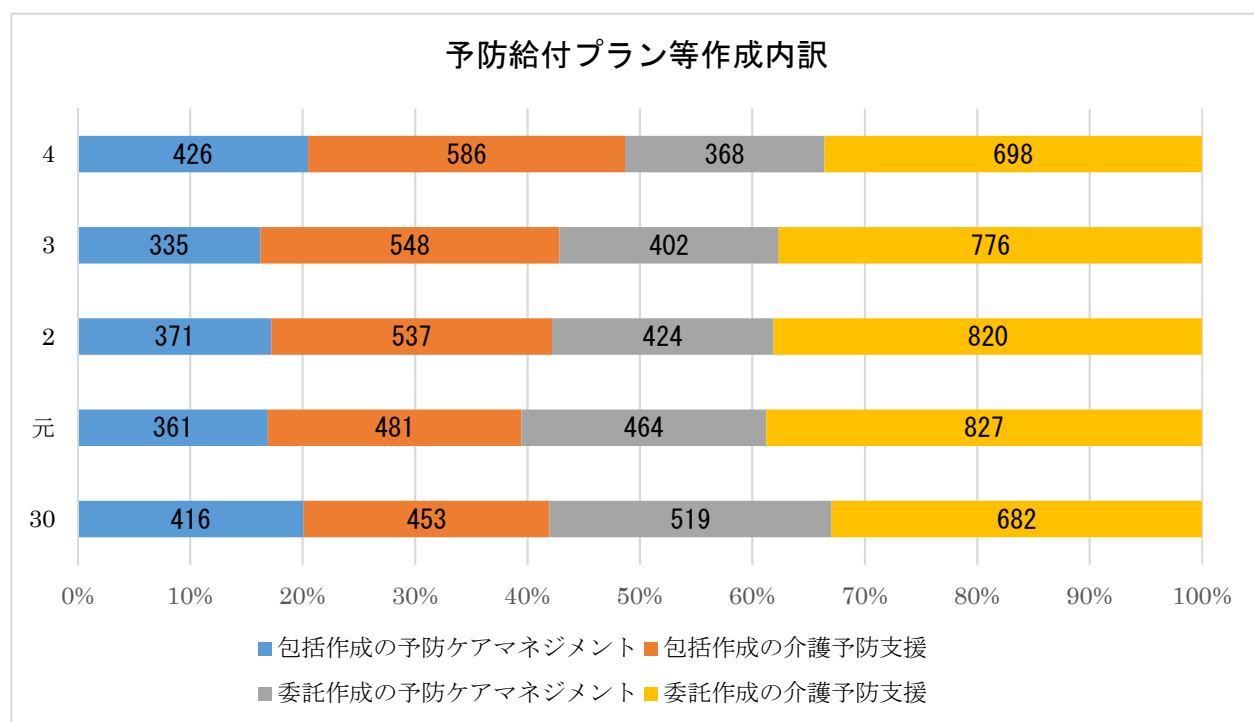
回	実施日	内容
第1回	4月21日	○安否確認マニュアルについて ○令和4年度の熱中症対策事業について ○実態調査について
第2回	6月28日	○熱中症対策事業に関する WINCARE への入力について ○アウトリーチ事業に関する共有事項について
第3回	8月25日	○熱中症対策事業における名簿紛失について ○令和4年度ウィズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業 ○アウトリーチ事業に関する情報共有（熱中症対策事業等）
第4回	10月27日	○訪問時における個人情報の取り扱いについて ○熱中症対策事業について（件数報告） ○ウィズコロナにおける高齢者のへ呼びかけ事業の情報共有 ○地域でのネットワークの作り方について（情報交換）
第5回	12月22日	○見守り対象者の名簿について ○第2層生活支援コーディネーターとの関わりについて ○民生委員児童委員協議会への参加について
第6回	2月16日	○見守り支援講座について ○令和5年度の熱中症対策事業について ○東京都報告書の見守り対象者数について

(4) 予防給付プラン等請求実績について（平成 30 年度～令和 4 年度）



平成 28 年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。

令和 4 年度の豊島区予防給付プラン等請求件数は、令和 5 年 3 月時点で 2,078 件である（令和 3 年度は 2,082 件）。このうち、地域包括支援センター作成が 1,012 件（48.7%）、居宅介護支援事業者に委託しての作成が 1,066 件（51.3%）である。全体件数は微減となっているが、包括作成の割合が増加している。



4. 認知症対策について

(1) 認知症支援事業 実施状況

① もの忘れ相談（定期相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	4	0	2	2	0	1	1	2	3	1
東部	3	3	0	0	0	1	2	0	3	0
中央	4	1	1	2	0	0	2	2	3	1
ふくろうの杜	2	2	0	0	0	1	0	1	1	1
豊島区医師会	4	2	2	0	0	0	3	1	3	1
いけよんの郷	2	2	0	0	0	0	0	2	1	1
アトリエ村	2	2	0	0	0	0	2	0	0	2
西部	3	2	1	0	0	0	2	1	1	2
合計	24	14	6	4	0	3	12	9	15	9

② もの忘れ相談（随時対応相談）

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0
東部	3	2	0	1	0	0	2	1	0	3
中央	4	2	1	1	0	0	3	1	4	0
ふくろうの杜	3	1	2	0	0	1	1	1	1	2
豊島区医師会	3	2	1	0	0	2	1	0	3	0
いけよんの郷	3	3	0	0	0	1	2	0	2	1
アトリエ村	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1
西部	4	2	1	1	0	0	2	2	3	1
合計	22	13	6	3	0	4	13	5	14	8

③ 認知症介護者支援事業・認知症普及啓発（認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修）

地域包括支援センター	認知症介護者の会	認知症介護者支援講座	認知症サポーター養成講座
菊かおる園		1回	1回
東部	12回		3回
中央	11回		4回
ふくろうの杜	11回	1回	2回
豊島区医師会	12回		1回
いけよんの郷		2回	4回
アトリエ村		1回	1回
西部	11回		5回
合計	57回	5回	21回

④ 認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	件数
菊かおる園	5
東部	3
中央	4
ふくろうの杜	5
豊島区医師会	2
いけよんの郷	5
アトリエ村	4
西部	4
合計	32

(2) 認知症支援事業について

事業名	事業内容	3年度実績	4年度実績
もの忘れ相談	地域包括支援センターにおいて、「豊島区認知症かかりつけ医」から医師会が選出した相談医が、もの忘れが懸念される高齢者やその家族の相談に応じる。 27年度より、随時対応相談を事業化し開始（豊島区医師会単独では、26年度より実施）	定期相談 12回 19名 随時相談 20回 20名	定期相談 16回 24名 随時相談 20回 22名

事業名		事業内容	3年度 実績	4年度 実績
高齢者こころの相談		認知症状があり、高齢者本人や家族に病識がなく外来受診につながりにくい場合などに、専門の精神科医が場合によっては訪問し、直接本人や家族と面接することで本人の病状の見立てを行うとともに、今後の関わり方への助言を通して早期治療・支援に対応する。	11回 14件	12回 19件
認知症早期診断・早期対応事業		受診を拒否する認知症の疑いのある区民に対し、地域包括支援センターからの要請で認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターアウトリーチチームが訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげる支援を行う。	2件	1件
認知症介護者等支援事業	認知症パンフレット作成	認知症に関する基礎知識やサービス・相談先等を掲載したパンフレットを作成し、配布している。	6,000部	6,000部
	認知症支援事業	認知症高齢者の介護者が、病気の理解や対応方法、利用できる制度を学ぶとともに、介護者同士の交流によって仲間づくりの機会を提供し、孤立の防止を図る。	5回	5回
	介護者の会	認知症高齢者を介護している方が安心して悩みや不安を話す情報交換の場として、介護者サポーターが運営を支え、地域包括支援センターが地域情報を提供している。	46回 220人	57回 235人
認知症カフェ		認知症の方やその家族、地域住民、保健福祉医療関係者が立ち寄り、交流や相談の場を提供している。	53回 486人	114回 934人
認知症講演会（もの忘れ相談区民公開講座）		認知症の病気の理解、医療や介護、周囲の支援に関することをテーマに講演会を実施している。	0回	1回
高齢者あんしん位置情報サービス		行方不明になるおそれのある高齢者の介護者に対し、位置情報サービスの利用料金の助成をしている。	15人	21人
認知症医療連携強化（豊島区認知症かかりつけ医）		豊島区医師会では、認知症を診ることのできる医師を増やすために、所定の講習を修了した医師会員を認知症かかりつけ医として登録しており、その名簿を認知症パンフレットに掲載し、周知している。	68人	70人

事業名	事業内容	3年度実績	4年度実績
認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）となるための講座を開催している。区主催講座と、講師が出向く出前方式の講座を実施している。	60回 1,291人	64回 1,175人
普及啓発	①広報：事業の案内や講演会などの記事を掲載している。 ②中央図書館の特集展示 ③ホームページ：認知症の病気の知識や支援事業の案内をしている。	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/28～9/23	高齢者福祉課 広報特別号 1回 8/27～9/22
地域包括支援センターでの相談	専門知識を持つ社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が、高齢者やその家族からの、福祉サービスや介護保険、介護予防などの相談に応じている。		

5. 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況

平成28年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まり、65歳以上の高齢者であれば心身の状況等によって分け隔てなく、一般介護予防事業対象となった。一般介護予防は、住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、生きがいや役割をもって生活できる地域の構築により、介護予防を推進していくことを目的としている。

(1) 通いの場の充実

① 介護予防サロン

事業名	事業概要	サロン数・開催回数・参加実人数
介護予防サロン事業	地域の閉じこもりがちな高齢者が気軽に参加できるサロンを月1回程度開催。	つながるサロンへ移行したため 事業終了

② 介護予防活動支援助成金交付事業

事業名	事業概要	団体数
介護予防活動支援助成金交付事業	主に高齢者が主体となって運営する介護予防・認知症活動を行う団体には、年3万円を助成。	49団体

③ 自主グループ活動

太極拳や俳句等の自主グループの他、講師と生徒の関係ではなく、誰でも何処でも住民が自主的に継続してできる「としまる体操」の活用を広げ、自主グループを増やしていく。また、自主グループ化した後は、イベントで発表の機会を設けるなど、更に活動の拡大を図る。

主な活動内容	活動グループ数
としまる体操	177 グループ
その他（太極拳、俳句等）	49 グループ

(2) 介護予防の担い手の育成

介護予防活動で自主グループ化を目指す際、率先して地域住民に声かけや活動の取りまとめを行う担い手が必要となるため、「介護予防サポーター」と「介護予防リーダー」の育成を行っている。

事業名	事業概要	累計養成者数
介護予防サポーター	高齢者が自身の介護予防の理解を深め、活躍の場を広げることを目的とし、シニア世代の互助機能を高める役割を担う人材の育成。	232 人
介護予防リーダー	健康寿命延伸のための介護予防推進とシニア世代の役割の創出を目的とし、課題発見型地域づくりを担うリーダーを養成する。	115 人
フレイルサポーター	まちの健康づくり、フレイルチェックの担い手を養成する。	87 人

(3) 体験型プログラム等

事業名	事業概要	実施回数・参加延人数
運動プログラム事業	○高齢者マシントレーニング 高齢者用マシンを使用して、筋力、筋持久力、柔軟性を高める。	4クール<12回> 162人
	○筋力アップ教室 転倒しない身体作りを目指して、足、腰、腹部の筋力アップを図る体操。	2クール<6回> 119人
認知症予防プログラム事業	○シニアのためのウォーキング教室 ウォーキングが脳と身体にもたらす効果について学びながら実践を行い、認知症の予防を目指す。	2クール<8回> 99人

事業名	事業概要	実施回数・参加延人数
認知症予防プログラム事業	○絵本読み聞かせ講座 絵本の読み聞かせを行うことで脳を活性化し、認知症予防を目指す。	1クール<1回> 47人
	○シナプソロジー（コグニサイズから変更） 脳活性化エクササイズで動作や発声によって、五感と認知機能に様々な刺激を与える	1クール<1回> 43人
介護予防推進事業	○イベント「介護予防大作戦」	1回 585人
	○お化粧品による介護予防講座 講座やお化粧品教室を開催し、日常的に化粧品に親しみ幸福感や外出する意欲を高める。	1回 18人
	○口腔ケア講座 歯科衛生士が唾液の分泌を促すマッサージ等の実践を行い、口腔ケアの向上を目指す。	17回 222人
	○栄養講座 管理栄養士が必要な栄養素等の具体的な講座を行い食生活の改善を目指す。	22回 522人
高齢者元気あとおし事業	元気あとおし会員に登録してボランティア活動をすると、活動時間に見合ったスタンプを押印する。スタンプ数に応じて現金に換金できる。	会員数 549人

（４）地域リハビリテーション支援事業

リハビリテーション専門職が、区民ひろばや、介護予防サロン、としまる体操グループ等、住民主体の通いの場への巡回支援を行う。

介護予防サポーター向け研修会の開催	リハビリテーション専門職向け研修会の開催	住民主体の介護予防グループへの巡回指導
1回	2回	145回

（５）高田介護予防センター

地域に介護予防の視点が根付き、健康寿命の延伸を目指すため、平成29年に開設。個人・団体を問わず、介護予防の拠点として活用。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター導入数	介護予防イベント（自主活動）回数	介護予防事業開催回数
17,236人	384人	277回	612回

(6) 東池袋フレイル対策センター

フレイル予防に大切な身体、心、社会参加の充実を図るため、食や会話、口腔機能維持などに関することを中心に取り組む多機能型介護予防センターを令和元年に開設。

① 利用状況

来館者数	介護予防サポーター 導入数	介護予防イベント (自主活動)回数	介護予防事業 開催回数
18,162 人	628 人	298 回	136 回

② フレイルチェック

フレイル（虚弱）のおそれのある方を早期に発見し、適切に対応するための仕組みとして、65歳以上の区民を対象に、フレイルチェックを実施。

コース	実施回数	参加者数
しっかりコース	46 回	399 人
かんたんコース	74 回	727 人

(7) 総合事業等

事業名	事業概要	利用件数
基本チェックリスト	25 の質問項目により日常生活に必要な生活機能が低下していないかを調べ、該当者は介護予防・生活支援サービス事業の利用につなげる。 対象：65 歳以上の区民	実施数 230 件 事業該当者 199 件
訪問型サービス事業	介護予防訪問事業	827 件
	訪問型サービスA	7,617 件 (高額介護予防サービス費相当事業費を含む)
	生活支援お助け隊（訪問型サービスB）	19 件 (実人数)
	短期集中訪問型サービス事業（訪問型サービスC）	リハビリテーション 179 件 口腔ケア 1 件 低栄養改善 13 件 (実人数)

事業名		事業概要	利用件数
通所型サービス事業	介護予防通所事業	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りで見られる。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	9,851件
	通所型サービスA	リハビリに特化したプログラムにより、運動機能を維持・改善させ、自立した日常生活を送れるようサポートする。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	259件
	つながるサロン（通所型サービスB）	自宅や区施設などで体操や会食をしている自主グループによる活動（サロン）へ参加し、心身の活力の低下を予防する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	670件 （実人数）
	短期集中通所型サービス事業（通所型サービスC）	リハビリ又は栄養改善などが必要な方を対象に、介護予防センターなどで3か月間週1回程度、専門職によるアドバイスを受けながら体操や会食をして日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	84件 （実人数）

令和4年度 包括主催ケアマネジャー研修実施一覧表

資料1 別紙

連絡先		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	共通テーマ	内容	対象	受講者・事業所数	開催形態
菊かおる園 高齢者総合相談センター 電話:3576-2245	1	令和4年7月21日	木	14:00	15:45	菊かおる園 ケアハウス集会室	令和4年度総合事業Q & A	テーマ3 ケアマネジメント実践力	豊島区総合事業についてのQA質問の回答と解釈により理解を深める。	圏域内事業所	25名 20事業所	単独
	2	令和5年2月28日	木	15:00	15:30	オンライン	社会保障審議会の動向を追う	テーマ1 介護保険制度の知識	次期改正に向けた進捗状況について理解を深める。	圏域内事業所	15名 9事業所	単独
	3	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修 「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
東部 高齢者総合相談センター 電話:5319-8703	1	令和5年1月19日	木	14:00	16:00	南大塚地域文化創造館 第一会議室	「地域福祉権利擁護事業や法定後見制度について」	テーマ3 ケアマネジメント実践力	地域福祉権利擁護事業や法定後見制度の知識や情報を整理し実践力を高める。	区域内事業所	13名 6事業所	単独
	2	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修 「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
中央 高齢者総合相談センター 電話:5985-2850	1	令和4年11月18日	金	10:00	11:30	上池袋第2 区民集会室	本人情報シートの書き方	テーマ3 ケアマネジメント実践力	認知症高齢者が、より適切に成年後見制度を活用するために必要情報提供の技術を身に着ける	圏域内事業所	8名 6事業所	単独
	2	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修 「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
ふくろうの杜 高齢者総合相談センター 電話:5958-1208	1	令和4年7月14日	木	14:00	16:00	区民ひろば南池袋	第一回ふくろうの杜ケアマネジャー研修会	テーマ3 ケアマネジメント実践力	成年後見制度について理解を深め、活用方法や後見人とのよりよい連携方法について学ぶ	圏域内事業所	19名 6事業所	単独
	2	令和5年2月14日	火	13:30	15:30	雑司が谷地域文化創造館	第二回ふくろうの杜ケアマネジャー研修会	テーマ3 ケアマネジメント実践力	虐待の基本と対応の流れ、関係者間の役割分担と連携方法について学ぶ	圏域内事業所	18名 6事業所	単独
	3	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修 「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同

令和4年度 包括主催ケアマネジャー研修実施一覧表

資料1 別紙

連絡先		開催年月日	曜日	開始時	終了時	会場	研修名	共通テーマ	内容	対象	受講者・事業所数	開催形態
豊島区医師会 高齢者総合相談センター 電話:3986-3993	1	令和4年9月15日	木	14:00	15:30	オンライン	ケアマネ研修	テーマ3 ケアマネジメント実践力	精神疾患のある利用者とその家族システムを考え、グループワークを通じて支援の方法を学び、実践力を養う。	圏域内事業所	12名 9事業所	単独
	2	令和4年12月22日	木	14:00	15:30	オンライン	ケアマネ研修	テーマ3 ケアマネジメント実践力	天涯孤独の事例を基に利用者の尊厳を踏まえた関わり方や方向性を検討する。	圏域内事業所	13名 7事業所	単独
	3	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修「倫理について考える」	テーマ3 ケアマネジメント実践力	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
いけよんの郷 高齢者総合相談センター 電話:3986-0917	1	令和5年2月22日	水	16:00	17:00	池袋ほんちようの郷 1階カフェスペース	いけよん圏域研修会	テーマ1 介護保険制度の知識	豊島区における介護予防・日常生活支援総合事業の考え方や内容を学び、ケアマネジメントにおける有効活用の手法を学ぶ	圏域内事業所	13名 7事業所	単独
	2	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
アトリエ村 高齢者総合相談センター 電話:5965-3415	1	令和5年2月22日	水	9:30	11:30	オンライン	アトリエ村地区CM模擬事例検討会	テーマ3 ケアマネジメント実践力	家族の見立てが必要な事例検討により、理解を深めて実践力の向上を目指す	圏域内事業所	16名 8事業所	単独
	2	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同
西部 高齢者総合相談センター 電話:3974-0065	1	令和4年6月16日	木	9:30	11:00	千早地域文化創造館 1F会議室	西部地区ケアマネ連絡会「総合事業」について学び、CMの資質向上に役立てる	テーマ1 介護保険制度の知識	豊島区総合事業の趣旨・制度・内容等について地域ケアマネと状況共有を図る	圏域内事業所	14名 7事業所	単独
	2	令和4年8月18日	木	9:30	11:00	千早地域文化創造館 1F会議室	西部地区ケアマネ連絡会「一般施策等」について学び、CMの資質向上に役立てる	テーマ3 ケアマネジメント実践力	一般施策等の事業の趣旨・内容・活用事例等について学ぶ	圏域内事業所	9名 4事業所	単独
	3	令和4年10月20日	木	9:30	11:00	千早地域文化創造館 1F会議室	西部地区ケアマネ連絡会「高齢者虐待防止・権利擁護」について学び、CMの資質向上に役立てる	テーマ3 ケアマネジメント実践力	高齢者虐待防止・権利擁護について現状や対応を学び、地域の事業所からの事例報告を通して、実践に活用する。	圏域内事業所	10名 5事業所	単独
	4	令和4年12月15日	木	9:30	11:00	千早地域文化創造館 1F会議室	西部地区ケアマネ連絡会「認知症」について学び、CMの資質向上に役立てる	テーマ3 ケアマネジメント実践力	訪問診療医から認知症の基礎知識や症例別の対応等を学ぶ。	圏域内事業所	11名 6事業所	単独
	5	令和5年3月16日	木	14:30	16:30	オンライン	地域包括支援センター主催8包括合同研修「倫理について考える」	テーマ5 プロ意識と倫理	介護支援専門員倫理綱領の理解を深め、対話を通して専門職としての行動規範や価値を学ぶ	区内全域対象	55名 35事業所	包括合同